

第8回 大口町行政経営審議会 議事録

- 日 時 平成 27 年 12 月 25 日 金曜日 午後 6 時から
- 場 所 大口町役場 2 階 第 1 会議室
- 出席者 岩崎恭典（四日市大学教授）、木野由美子（NPO 法人まちねっと大口）
 加藤正男（タイム技研株式会社）、舟橋里美（商工会） 棚村重三（元区長会長）、
 丹羽昭雄（有限会社宝製作所）、今尾謙一（愛知銀行）、
 田村健治（国際交流事業推進委員）、江端満世志（元議会議員）、
 吉田美晴（社会教育委員）、日比野喜也（公募による委員）、
 井上隆夫（公募による委員）、吉田和江（NPO 法人子どもと文化の森）、
 井上正直（公募による委員）
- 欠席者 山田吉昭（株式会社青山製作所）
- 事務局 馬場輝彦（総務部長）、社本寛（政策推進課長）、岩田雄治（政策推進課）
 総合計画プロジェクト（稲垣・岩崎・松井・喜来）
- 議 題 （1）まちづくり戦略について
 （2）パブリックコメント（案）について
 （3）まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のためのアンケート調査について
 （4）その他
- 配布資料 資料 1：第 7 次 大口町総合計画（案）
 資料 2：第 7 次 大口町総合計画分野別計画構成
 資料 3：大口町総合戦略（転入者）アンケート報告書（案）
 資料 4：大口町総合戦略（転出者）アンケート報告書（案）

1. まちづくり戦略について

副 会 長	○岩崎会長が所要で遅刻されます。 ○事務局から説明をお願いいたします。
事 務 局	○資料 1 の 37 ページから 45 ページの間の、まちづくり戦略の部分について説明させていただきます。
副 会 長	○まちづくり戦略について変更があった部分の説明いただきましたが、皆様から意見や質問はありますか。
委 員	○44 ページ 実施方針と関連する施策の中で、 前回の資料と比べ経営相談などの充実を削除しているのは何故か。 ○資料 1 の施策コードで示すと、52222 に該当する。
事 務 局	○資料 1 173 ページ 諮問委員会時に提出した際は、施策コード 52222 であったが、個別の計画の中で、施策コード 22222 と 22223 が入れ替わったため、削除する形となった。
委 員	○個別の施策としてはなくなってしまったのか。

事務局	○個別施策としては、削除している。 施策コード 52222 については、個別の施策 173 ページ (2) ①、 ○経営相談については「経営の改善・革新等への支援」でまとめている。
副会長	○経営相談などの充実など削除された項目に関しては、資料 1 173 ページ (2) ①の中に入っているという理解でいいのか。
事務局	○その理解で結構です。
副会長	○他のご意見はよろしいでしょうか。 ○皆様ご納得いただいたということでよろしいでしょうか。
一同	○承認。
副会長	○皆様の承認をいただけたということで、次の議題に進みたいと思います。

2. パブリックコメント (案) について

副会長	○パブリックコメント (案) についてご説明をお願いいたします。
事務局	○資料 1 について修正した部分を説明。
会長	○交通事情等で都合が付かず遅刻してしまい、申し訳ございませんでした。 ○委員の皆様から出た意見をもとに、事務局側が修正した点を委員の皆様を確認して頂きましたが、皆様ご意見はいかがでしょうか。
委員	○136 ページ 図書館サービスの充実における、現状と課題について質問です。 2 点目について、文章が難解な部分があるので読みやすいように再考すべきではないか。 ○74 ページ 2015 年度の高齢化率が 21.9%とあるが、正しくは高齢化率が 21.4%ではないか。
事務局	○2014 年度が 24.9%であり、2015 年度 10 月時点で 21.9%と表記している。
委員	○128 ページの現状と課題において、「変化」という言葉が重複しているので文章を再考する必要があるのではないか。
委員	○100 ページ 「です、ます」調で他の文章は書かれているが、このページだけそのように書かれていないので、再考すべきではないか。
会長	○災害は今後も起こってほしくないが、他の災害事例を見ても必ず災害ボランティアは必要になってくることは明らかである。 ○災害ボランティアに対しての体制づくりについてもわかりやすく、文章についても再考するして明記する必要があるのではないか。
事務局	○文章が長くわかりづらい部分があるので、再考することとします。
委員	○150 ページ②、宿泊助成事業として助成されている、松江市の玉造温泉など利用できる施設についてについて、明記すべきではないか。
事務局	○150 ページ①の項目で松江市については個別で記述しており、他の地域とは異なった地域間交流であるということで理解していただけたと考えている。
委員	○150 ページ②の項目の下に、利用できる地域について明記してはどうか。

会 長	○町民の皆様が読まれることを考えると、利用できる地域を明記した方がよいのではないか。
事 務 局	○150 ページ②の文章については、今後リフレッシュ・リゾート計画が変更する点もあるため、それぞれの策定期間を明記するなど含めて再考したい。
委 員	○168 ページ 認定農業者5人と書かれているが、今後増えることも、減ることも考えられるため、明記する必要があるのか。
事 務 局	○あくまで現時点のことを書いている文章なので、今後について明記しているわけではない。
委 員	○文章の中で数字が全角と半角が入り混じっているが、ルールはあるのか。
事 務 局	○一桁は全角、二桁以上は半角で明記している。 ○目標指標の部分は全角で明記している。
委 員	○66 ページ 字体が明朝体で表記されている。 68 ページ ゴシック体で表記されている 70 ページ ゴシック体で表記されている 52 ページ 第1章の文章表現が異なっている。 58 ページ 第1章の文章表現が異なっている
委 員	○68 ページ 胃がん検診の目標値について、数値が下がっているのは何故か。目標値なので、上昇していくべきではないか。
事 務 局	○目標数値については、再度検討したい。
委 員	○44 ページ 4行目 「ものあり」ではなく、「もので」ではないか。 78 ページ 介護保険事業② 読み方について「つきあわせ」なのか「とつごう」と読むのか。
会 長	○「とつごう」ではないか。行政用語のためわかりづらい部分があるかもしれない。
委 員	○全体の目次はつけるのか。
事 務 局	○目次をつけるように検討します。
委 員	○資料編は、最終的にまとめていくことも必要ではないか。
会 長	○次回以降の会議を運営していくためにも、使用した資料を残していくことは大切ではないか。
委 員	○用語解説を文末につけるべきではないか。
事 務 局	○用語解説についてはまだ記載できていないので、今後付け加えたい。
委 員	○今後、パブリックコメントで住民からの意見がありますので、皆様にはぜひ住民の立場としてパブリックコメントも是非いただきたい。
委 員	○最終的には冊子の形になるのか。冊子は、どの範囲に配布する形になるのか。前回はどのようにしていたのか。
事 務 局	○前回は概要版を全戸配布し、冊子自体を全戸配布していない。今回も同様である。しかし、保存など今後のことを考えた場合、ある程度は冊子も残しておく必要はあると考えている。

会 長	○本来は、全員職員は冊子を持っているべきであると個人的には感じる。日々の業務時に、内容を参考や確認を行いながら業務遂行することも、大切なことであるのではないか。
事 務 局	○第6次総合計画は全職員には配布していない。今回は全職員に配布する予定である。
委 員	○HPには冊子はアップされるのか。
事 務 局	○HPには冊子のデータをアップし、公表する。 ○議員の方々に11月の下案を配り、意見をいただいた。その中で、103ページにおいて、犯罪発生件数を280件でなく、0件を目標にすべきではないかという意見をいただいた。 ○この意見を踏まえ、審議会の皆様の了承を得られた場合、犯罪発生件数は項目として外すことも事務局として現在考えている。
委 員	○あくまでも目標値なので犯罪発生件数でなく、減少率で示していくべきではないか。
委 員	○具体的な数値を示した場合、交通事故などは0件でないため、発生しても仕方がない、という議論にもなってしまうのではないか。 ○減少率で明記した場合、元の数がわからなければならないのではないか。
委 員	○元の数字を明記し、実数を書かず減少率を明記したらよいのではないか。
会 長	○その場合、計算すればわかることなので、あまり意味のあることでないのでは。
事 務 局	○数値を明記すれば年ごとの減少率などがわかるため、成果として見やすいものとなる。しかしながら、犯罪発生件数を減らしていくための取り組みとして、犯罪発生件数をどのように明記すべきかは、再考している段階である。
委 員	○100世帯に対しての犯罪発生件数など、これまで数値化したものを活用すべきではないか。
会 長	○犯罪発生件数に代わるような指標はあるか。 ○町民自主防犯活動を行い、参加人数が増えているなどの数値を明確化する指標があればよいのではないか。
事 務 局	○犯罪発生件数を0件にすることは、究極の成果であるとも考えている。 無論、犯罪発生件数目標が280件で良いかどうかという議論の余地はあるが、最も大切なことは、持続的に発生率下げていく努力が必要ではないか。 ○犯罪発生件数を0件にした場合、105ページに明記している、「交通事故年間発生件数（人身事故）」も0件にしなければならないという議論になってしまう。
委 員	○犯罪発生件数を0件にしないことは、暗に犯罪を認めてしまうことになってしまふことを杞憂している。この点は、交通事故とは異なる点ではないか。
会 長	○現状では目標指標に目が行きがちになってしまう。 ○パブリックコメント後に再度、事務局側で検討いただきたい。

3. まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のためのアンケート調査について

会 長	○事務局からアンケート調査の報告をお願いいたします。
事 務 局	○資料 3, 4 について説明
会 長	○この資料は、若い世代が大口町に再転入してもらうための戦略を議論する際に、有力なものとなります。 ○この結果は、転入者のすべてを示すわけではなく、あくまで一部の考え方や行動結果を示すものであると認識していただきたい。 ○事務局の説明の中でもあったが、若者に対する教育も今後大切になるのではないかと。
委 員	○資料 3 15 ページ 外国籍の方が大口町に来たということなのか。外国から大口町に戻ってきたということなのか。
事 務 局	○無記名なので、対象者の背景についてはわからない。
委 員	○転入転出については、人口ビジョンにグラフとして出ているものなのか。
事 務 局	○その通りです。
委 員	○アンケートの返却率が 33%という結果は低いものなのか。
事 務 局	○アンケートの回答率としては、低いものとして捉えている。しかしながら一定数の回答を得ているので、人口データの裏付けとなるものとして考えている。このようなアンケートは、無回答者もいるので、若干の誤差はあるものとして考えている。
会 長	○転出者向けのアンケート結果として、33%の回答があったことは評価してよいと感じる。

4. その他

事 務 局	○1月4日から2月1日にパブリックコメントを行う。この意見に回答したものを踏まえ、再度見直し委員の皆様にお示しします。これを最終的な答申案とします。 ○今後日程調整しますが、2月上旬に審議会を行いたいと考えています。 ○総合戦略については、まだ策定作業中のため、1月中に素案が出来た段階で皆様にご提示したい。 ○基本的には、まちづくり戦略を基にして5年間の総合戦略として示すこととしている。
会 長	○年明け後、1月中、少なくとも2月には、総合計画の最終的な案文を委員の方と確認することとなります。 ○皆様何かありますでしょうか。
委 員	○総合戦略は議決案件なのか。
事 務 局	○総合戦略は議決案件ではありません。議会には意見を伺います。総合計画は議決を目指し、上程することとします。

以上